

(2022.12)

(情報公開文書用)

作成日 2026 年 7 月 6 日

第 1 版作成

2020 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに 当院において腹部 MRI（MRCP）検査を受け、IPMN と診断され た方およびご家族の方へ

—「IPMN 患者における膵実質の定量的 MRI 指標に関連する因子の検討」へのご協力をお願い—

本研究は、研究対象者の権利を守るため、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を受け、
学長および病院長の許可を得て実施します。

研究責任者 川崎医科大学 放射線診断学 チーフレジデント 前場淑香

研究分担者 川崎医科大学 機能・代謝画像診断学 教授 福倉良彦

川崎医科大学 放射線診断学 講師 神吉昭彦

川崎医科大学 放射線診断学 講師 八十川和哉

川崎医科大学 機能・代謝画像診断学 大学院生 佐藤佑樹

川崎医科大学 放射線診断学 準教授 山本 亮

川崎医科大学 放射線診断学 教授 玉田 勉

1. 研究の概要

膵管内乳頭粘液性腫瘍（intraductal papillary mucinous neoplasm；IPMN）は、膵管内に乳頭状に増殖

する膵腫瘍であり、良性から悪性まで様々な段階を示し、経過中に悪性化することがあります。IPMN
のある方では、IPMN 自体から発生する癌だけでなく、IPMN から離れた部位に膵癌が発生することも
知られています。近年、MRI を用いて膵臓の脂肪含有量や線維化などを定量的に評価できるようになっ
てきました。本研究では、膵実質の定量的 MRI 指標と年齢、性別、血液検査値、嚢胞の大きさなどの
関連を調べ、IPMN 患者における膵実質の変化を明らかにすることを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに川崎医科大学附属病院において 3 T MRI による MRCP 検
査を受け、IPMN と診断された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日

3) 研究方法

対象となる方の診療録および MRI 画像を用いて、膵実質の定量的 MRI 指標（信号強度比、拡散係数、
脂肪含有率、T1 緩和時間、T2*緩和時間）を測定します。これらの指標と、年齢、性別、BMI、
HbA1c、CA19-9、嚢胞の大きさ・部位、主膵管径、細胞診結果、1 年間の嚢胞径増大量との関連を統計
学的に解析します。本研究のために新たな検査や受診をお願いすることはありません。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、BMI、HbA1c、CA19-9、最大嚢胞径、最大嚢胞の部位、最大主膵管径、細胞診結
果、1 年間の嚢胞径増大量、MRI 画像等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学放射線診断学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書等の閲覧および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母〔親権者〕、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2028 年 4 月 1 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 放射線診断学教室

氏名：前場 淑香

電話：086-462-1111 内線 44262（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-464-1123

E-mail：kiyo@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。